

第5回 建設文化と愉快的仲間たち

和合館工学舎 学舎長 今西肇

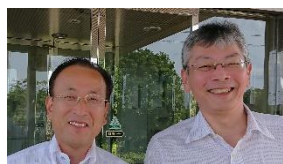
建設文化の継承、革新、交流、連携そして、建設文化人の育成が、和合館工学舎の目指すべき方向です。和合館工学舎は、地域の技術者とともに社会の「しあわせ」や「ゆたかさ」を実現します。

★建設文化の継承

我が国の建設文化を取り巻く社会環境は東日本震災前後で劇的に変化しました。失われかけていた建設文化が見直され、活力あふれる建設産業が戻りつつあります。しかしいま、経験豊富な技術者や技能者の退職と人口減少による人材の確保が難しくなっています。どのように解決するかは技術者自ら考え続けなくてはならないと考えます。



青木則明氏と衣川義弘氏
但南建設株式会社



北野一臣氏と原 諭氏
株式会社原工務所

★建設文化の革新

AI を含む ICT により知識記憶型の技術文化から知識活用型の技術文化へと転換が必要とされています。ICT の本質を知り、AI を活用できる技術者による建設文化の革新が求められています。そのためにも ICT に慣れることから始めましょう。

★建設文化の交流

建設文化は、決して一人の技術者によって作り上げられるものではなく、チームワークによって作りあげられる文化です。専門技術とマネジメント技術の融合と交流が、新たな建設文化を創出できるでしょう。それには、人的ネットワークをはじめ、人が交流できる場があってこそ、最適解を得ることができます。そのプラットフォームが和合館工学舎です。



西田吉宏氏
西田工業株式会社

★建設文化の連携

技術者の連携、技術者と技能者のコラボレーション、それらのプラットフォームづくり、このような建設文化の連携によってこそ、社会に必要とされるインフラストラクチャーの構築と維持管理ができます。よく聞く言葉として「サプライチェーン」がありますが、「テクノロジーチェーン」としての建設文化の連携が不可欠になっています。



西田卓央氏
西田工業株式会社

★建設文化人

建設技術者は、市民に成り代わり、社会のインフラストラクチャー整備を行い、社会の幸福と発展に寄与します。すなわち建設文化人として社会に奉仕することを目指します。高い倫理意識と優れた技術力を持って、いろいろな社会問題を解決しているのが建設文化人の「愉快的仲間たち」です。



福井正人氏
福井建設株式会社